Press Release

2026 年 11 月 5 日
株式会社日立システムズ

協創空間「DX Smart Lounge」に VR 保守、AI、セキュリティの体験型コンテンツを導入

より複雑化するお客さまの課題について体験型コンテンツと対話を通じて可視化し、課題解決に向け伴走



「DX Smart Lounge TOKYO」の体験コンテンツ（一部）

株式会社日立システムズ（以下、日立システムズ）は、お客さまと新たな価値を創出することを目的とした協創空間「DX Smart Lounge」に、日立システムズの技術・サービスをより身近に体験できるコンテンツを導入します。

DX Smart Lounge は、お客さまとの対話を通じて課題を可視化し解決策を協創するため、東京と大阪の拠点に常設している協創空間です。これまで動画や資料を用いてお客さまの課題の可視化や解決イメージの共有を行っていましたが、今回 AI で高度化した保守サービスを体験できる VR 保守体験や製造業向けアシスタント AI のデモンストレーション体験、セキュリティシナリオシミュレーション体験といった体験型コンテンツを導入することで、お客さまに技術やサービス導入のリアルなイメージを提供します。これにより、これまで気づいていなかった課題を発見したり、課題の解決方法をより具体化したりすることが可能になります。

日立システムズは、これらの体験型コンテンツを活用してお客さまとの対話をより一層深め、お客さまの課題解決に向けて伴走します。

■背景

日本企業において DX が進む一方で、AI などの登場で DX サービスの導入がより複雑化。

業務効率化に留まらない、企業価値創出に向けたより専門的な支援のニーズが高まる。

独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）の「DX 動向 2026」[*1]によると、日本企業における DX の取り組みは着実に進んでいる一方、生成 AI をはじめとする新たな技術の急速な普及により、企業が取り組むべきテーマは年々拡大しています。従来の業務デジタル化やシステム導入に加え、AI 活用、データ利活用、サイバーセキュリティ対策、人材育成、ガバナンスなどを一体的に推進する必要があり、DX はより高度で複雑な経営課題へと変化しています。

＊1 出典：「DX 動向 2026 調査のポイント 広がる AI 導入、DX は変われるか」（独立行政法人情報処理推進機構）
https://www.ipa.go.jp/pressrelease/2026/press20260716.html

■体験型コンテンツの特長

社会インフラ保守やサイバーセキュリティなど喫緊の社会的課題を解決するための技術と、

日立システムズの AI サービスを特長付ける「ドメインナレッジ×AI」を体験できるコンテンツ

日立システムズはこの状況を受け、お客さまの課題解決に向けて伴走するため、お客さまが抱える悩みや関心事を可視化し、「次に何を考え、何に取り組むべきか」を共有するための協創空間「DX Smart Lounge」を 2020 年に開設しました。

このたび、お客さまとよりリアルなサービス導入イメージを共有し、これまで気づいていなかった課題を発見したり、課題の解決方法をより具体化したりできるよう、体験型コンテンツを導入しました。具体的には、社会インフラ保守やセキュリティなど喫緊の社会的な課題を解決するための技術を体験できるコンテンツや、日立システムズの AI サービスの特長である「ドメインナレッジ×AI」を体験できるコンテンツを導入します。

＜体験型コンテンツの詳細＞

①AI を活用し高度化した「社会インフラ保守 powered by Lumada」をはじめとした保守サービスの VR 保守体験

社会インフラ保守における日立グループのソリューション群「社会インフラ保守 powered by Lumada」や、日立システムズが培ってきた保守のナレッジと AI を掛け合わせた保守現場のフロントラインワーカー支援サービスを体験できます。

・VR を用いた実機教育体験

VR ゴーグルを装着し、過去のユースケースから AI がまとめた適切な保守手順をバーチャル空間で体験できます。例えば「同一モデルの機器が大量に配置されている中で対象機器の電源ケーブルを正しく抜線する」といった、実際と同様の作業をコントローラーレスでリアルに訓練することが可能です。

この体験により、お客さま現場のフロントラインワーカーに向けた教育や技術継承における VR 活用をイメージできます。

・機器異常発生時の遠隔保守対応デモンストレーション

DX Smart Lounge の 2 拠点の映像をつなぎ、一方を管理者側、もう一方を現場側として、実際に機器に異常が起きた際に遠隔で保守作業の指示を行うデモンストレーションを体験できます。この体験には、「社会インフラ保守 powered by Lumada」の一つである日立システムズの「CYDEEN 映像データ利活用システム」「CYDEEN メーター自動読み取りサービス」「CYDEEN フィールド作業支援サービス」が用いられています。

この体験により、「社会インフラ保守 powered by Lumada」導入後の遠隔作業のイメージを持つことが可能です。

② 「ドメインナレッジ×AI」を体験できる製造業向けアシスタント AI のデモンストレーション体験

設計図の品質チェック、過去のヒヤリハットの把握など製造業固有の業務について AI の技術を用いて効率化する「製造業向けアシスタント AI」のデモンストレーションを体験できます。製造業での AI 活用はもちろんのこと、製造業向けアシスタント AI を例に、日立システムズの AI サービスの特長であるドメインナレッジ×AI のコンセプトを体験することが可能です。

この体験により、AI サービスを導入することによる現場業務の改善をイメージできます。

③ランサムウェア攻撃発生時の対応を体験できるセキュリティシナリオシミュレーション体験

昨今企業において増加するランサムウェアによる不正アクセスについて、攻撃者の視点を体験できるシナリオシミュレーションコンテンツです。攻撃者の視点を知ることで、どのような経路やステップでランサムウェア攻撃が進むのかを体験できます。

この体験により、自社のシステム構成と照らし合わせながらぜい弱性があるポイントについて想起することができ、より深いディスカッションにつなげることが可能になります。

■今後の展開

日立グループ各社の協創拠点と連携しながら体験型コンテンツを拡充予定

今後は DX Smart Lounge と日立グループ各社の協創拠点と結び、グループ横断でサービスを連携させることで体験型コンテンツのラインアップを充実させ、お客さまへのさらなる価値提供を実現していきます。

■協創空間「DX Smart Lounge」について

https://www.hitachi-systems.com/dx/dsl/

■関連するお知らせ

お客さまとの対話の深化をめざし、協創空間「DX Smart Lounge」をリニューアル

https://www.hitachi-systems.com/news/2026/20260527.html

日立システムズについて

日立システムズは、日立グループの社会イノベーション事業を支える企業として、サステナビリティ経営を推進し、システム開発から運用・保守・工事までをワンストップで提供しています。現場で培ったドメインナレッジと AI を掛け合わせた DX サービスや安心・安全なデジタル環境を実現するマネージドサービスを通じて、お客さまの企業価値向上に貢献します。そして、お客さまとともに社会課題を解決することで、企業理念に掲げる「真に豊かな社会の実現に貢献」してまいります。

詳細は https://www.hitachi-systems.com/ をご覧ください。

お問い合わせ先
株式会社日立システムズ
お問い合わせ Web フォーム
https://www.hitachi-systems.com/form/contactus.html

報道機関お問い合わせ先
株式会社日立システムズ　サステナビリティ・リスクマネジメント本部
コーポレート・コミュニケーション部 広報グループ　松本、稲岡
media_contact@hitachi-systems.com

*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。